



育成センター

こうほう

発行元 板野東部青少年育成センター組合
 板野郡北島町中村字上地23番地1 北島町役場5階
 TEL: 698-3440 FAX: 698-8810
 相談電話: 698-8780
 E-mail: itanotobu-ikusei@mb.pikara.ne.jp

《インターネットの利用について》

育成センターでは毎年、松茂町・北島町内の小学校5年生、中学校2年生に協力してもらいインターネットの利用状況についてアンケート調査を実施しています。令和7年6月実施の結果についてご覧ください。

Q あなたは、1日何時間ぐらいインターネットを利用しますか。

回 答	小学校		中学校	
	平日	休日	平日	休日
①1時間未満	30.8%	16.3%	11.6%	5.0%
②1時間以上 3時間未満	40.5%	41.7%	54.8%	26.7%
③3時間以上 5時間未満	23.3%	23.6%	26.4%	40.9%
④5時間以上	3.9%	17.5%	6.6%	27.1%

Q あなたは、インターネットでトラブルにあった時に、相談できる人がいますか。

回 答	小学校	中学校
①いる	92.7%	89.1%
②いない	7.3%	9.2%

インターネットの利用時間について、平日より休日の方が長くなる傾向があります。インターネットが1日の生活に占める割合が多くなると、健康被害のおそれがあります。生活が乱れないように早めにセルフコントロールできるようにしましょう。

また、今回から闇バイトの勧誘について調査したところ、小学校・中学校ともに闇バイトに誘われた経験があるという回答が少数ありました。徳島県内でもSNSを通じて犯罪に巻き込まれる事件も発生しており、子ども達自身が加害者にも被害者にもならないために予防措置やネットリテラシーの習得が必要になってきます。

安全安心にインターネットを使える環境作りが必要ですが、なによりも利用者本人や家族が情報収集し、最適な行動をとってほしいです。インターネットを通じた犯罪は年々手口を変えており、困ったことがあればすぐに周囲に相談してください。

《リーダー養成研修会》

リーダー養成研修会は、7月28日（月）北島町役場で開催し、松茂中学校・北島中学校の2年生23人が参加してくれました。

今回はFUKU-GYO-LIFE株式会社の妹尾裕介さんの他、県内で活動中の社会人や大学生を講師として呼びし、「しくじり先輩！～わたしたちだから伝えられること～」のテーマでお話をうかがいました。その中で印象に残ったお話を紹介します。

○自分の気持ちを大切に

自分のことを後回しにして無理をしていないか振り返る時間を作り、自分の気持ちに正直に素直に向き合ってほしいです。

○今の自分を信じて突き進んで

自分で選択する自由があると、失敗も多いけど挑戦する先にはいい未来がまっています。

○好きなことがパワーになる

好きなことやワクワクは皆の力になるから無駄だと思わないでください。答えは自分の中に、失敗しても、伸びしろはまだあると思ってこれからもがんばってほしいです。

○やりたいことにチャレンジ

実家のお米を食べてもらい、生産者へ美味しいものだ伝えていきたいです。みなさんもやりたいことがあるなら中学生のうちから挑戦してもらいたいし、どこから始めても構いません。

中学生の皆さんには人生の先輩の失敗や経験を重ねた中で得た気持ちや伝えたいメッセージを受け止め、これからの生活に活かしてほしいです。

《非行防止作文》

青少年の健全育成及び非行防止作文について、管内の中学校2年生から募集をしました。選考の結果、次のとおり入賞者が決まりました。

裏面に入賞作品の一部を掲載していますので、ご覧ください。

最優秀 「意識してほしいこと」

松茂中学校2年 山下 結愛

「明るい世界をつくるために」

北島中学校2年 木本 和佳奈

優 秀 「与えられた影響」

松茂中学校2年 春藤 桜晴

「SNSでの誹謗中傷」

松茂中学校2年 高見 結菜

「日常に隠れるいじめ」

北島中学校2年 中野 瑠珂

「いじめといじりの違いって」

北島中学校2年 森 美里

令和7年度 非行防止作文 入賞作品

『意識してほしいこと』

松茂中学校2年 山下 結愛

みなさんは人の苦手なこと、できないことで悪口を言ったり笑ったりして人を傷つけたりしたことはあるでしょうか。軽い気持ちで言ったことでも、相手からしたら嫌な気持ちになったり傷ついたりしてるかも知れません。

私は昔から人と話したりすることがとても苦手です。初対面の人と話をすると、言葉がでてこなくなったり、上手く話すことができなくなってしまう。このことで私は初めて会った人から「暗い」「怖い」などの印象をもたれることが多いです。話をすること以外でも、発表など人前でなにかを言わないといけないとなると緊張してなにも考えられなくなります。私はこのようなことで昔から「あの子は地味だから誰も相手しない方がいい」「話しかけても意味ない」など裏で言われることが多くなりました。私は裏で言われているのを知ったとき、なんで苦手なこと、頑張っただけなのに思っていることに対して悪口を言うのだろうと思いました。確かに話すことはとても大事だし必要だから、それを上手くできない人がいたら嫌と思う人も多いかもしれません。でも私は、そういうことで笑ったり、悪く言うのは少し違うと思います。私の周りにも同じなやみを持っている人がいました。その子は私と違って自分の苦手を克服できるように、他の人に悪口を言われても気にせず頑張っていました。私はそれを見てすごいなと思いました。なんでこんな努力しているのに悪く言うのか私には分かりませんでした。冗談で言ったりしていても相手は傷ついているかも知れないということをみんなに知ってほしいと思いました。「本人がいないから言ってもいい」とかそういう考えをなくして、相手の立場になって考えることが私はとても大切だと思います。でも、気をつけて話したり相手の立場になって考えることは少し難しいことです。だけどそれを一人一人考えることで私や友達のように嫌な気持ちになる人を少しでも減らせると思います。

私はこのような経験をしてから、相手の人に悪く言ったり笑ったりして、傷つけているような人がいたら注意できるようにしようと思いました。みなさんには、一回それってほんとに言っているのかをしっかりと考えてから話すことが大切だと知ってほしいです。知るだけでなく、みんな一人一人が間違っただけを言っている人に注意できるようになったらいいなと思います。これからみんなが意識して相手の子を嫌な気持ちにさせていないか、傷つけていないかとしっかりと考えて話をすることでみんなと仲を深められると思いました。私が経験したことのように裏で言ったりする子が少なくなると、前よりももっといいクラスが作れたり、嫌な気持ちになる人が一人でも減らすことができます。なので私は、難しいことだけど一人一人が意識して相手の子を傷つけさせないような言葉で話してほしいと思います。

『明るい世界をつくるために』

北島中学校2年 木本 和佳奈

今、身の周りを見渡してみると、いろいろなところで悲しい、つらい思いをしている人がいます。明るい世界を築いていくために私たちは、一体何を考え行動していかなければいけないのでしょうか。私が人権問題として、今、一番考えたいことに、SNSによる人権侵害問題があります。

私は時々、テレビやスマホなどで、“自殺をした。”といったニュースを見たことがあります。その原因は、SNSによる誹謗中傷やいじめなどでした。

私が小学生だった頃に、授業で、スマホの正しい使い方や、間違った使い方をしてしまったらどうなるか、などの動画を見ました。その時私は、もしスマホを買ってもらえたら、間違った使い方はしないようにしよう、思ったことをそのまま送信して、相手を傷つけることのないように気をつけようと思いました。

今、SNSでの誹謗中傷は、社会問題になっています。そのことで、心に傷を受けた経験のある人の割合は、全体の約三割にもなっていると言われています。SNSによる誹謗中傷や、いじめに発展した書き込みによって自殺した人のニュースを見ると、誰のどんな思いが、いじめに発展するまで書き込みを続けさせたり、気軽に相手を誹謗中傷をしたりするのかを知りたくなります。軽い気持ちで言葉にして送信したことや、言ったことが相手を自殺に追い込む凶器になってしまいかもしれないのに、なぜ言ってしまうのでしょうか。

SNSは匿名での投稿が可能だから、バレないだろうという軽率な気持ちで書き込みをすることができません。普段使わない攻撃的な言葉を相手に使うことで、その人のストレスのはけ口になったり、相手を見下すことで、自分の優越感を満たし、自己肯定感を高めたりするための手段となり易いそうです。

私は、このことからSNSを使って投稿したり、返信したりするときは、送る内容が相手にいやな思いをさせないか、相手を傷つけるような攻撃的な言葉が入っていないかを、確認してから送るようにしています。また、SNSは便利な道具ですが、そこに依存しストレスを発散するのではなく、運動や読書をしたり、勉強をしたりして、自分のストレスを上手に発散していきたいです。

一人一人の行動が、世界中の人の人生を変えていくと私は思っています。安心して生活できる明るい世の中を作っていくために、いつでも何度でも、SNSの使い方を見直しながらかつていきたいと思っています。

